

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	システム開発	科 目 名	オブジェクト指向開発Ⅱ	科目コード	T1280B2
配 当 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	授業実施形態	通常 ・ 集中	単 位 数	4 単位
担 当 教 員 名	森岡 卓哉	履修グループ	3E(MP/SP)	授業方法	演習
実務経験の内容	IT 関連企業などで WEB アプリケーションの開発や支援システムの構築を 10 年にわたり行った業務経験を生かして、HTTP 通信の基礎部分から実践的に講義する。				
学習一般目標	オブジェクト指向なプログラミングの知識をつかい、クラスとオブジェクト単位で分析設計するセンスを身につける。またテスト手法やペアプロ・コードレビューといった開発手法を学んでそれらを通してソフトウェアを 1 から設計開発しプロジェクトを運営できるようになる。				
授業の概要 および学習上の助言	身の回りのソフトウェアを常に観察してどういう構造のデータ階層になるか通信に必要な部分は何処かなど、日頃からしっかり観察する姿勢があると望ましいです。コンピュータやソフトウェアやプログラミングが苦手だとしてもセンスや興味を持つためによく違いを見てみましょう。				
教科書および 参 考 書	指定教科書 なし 参考書 UML 入門 プログラミングの教科書				
履修に必要な 予備知識や 技能	Java の基礎知識、オブジェクト指向プログラミング				
使 用 機 器	Windows PC				
使用ソフト	とくになし				
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1	オブジェクト指向を活用した設計とテストを身につける			
	1	プログラムの設計や分析を身につける			
	2	ITを活用した仕事の変化に対応できるようになる			
	5	プロジェクトの設計や運営を身につける			

達成度評価	評価方法		試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計
	総合評価割合					50			50	
	学部 D P	1.知識・理解				20			20	40
		2.思考・判断				20			10	30
		3.態度								
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲				10			20	30
評価の要点	評価方法		評価の実施方法と注意点							
	試験		とくになし							
	クイズ 小テスト		とくになし							
	レポート		とくになし							
	成果発表 (口頭・実技)		授業中に、進捗度をチェックしていきます。 提出物を、各授業の終了時に提出していただきます。							
	作品		とくになし							
	ポートフォリオ		とくになし							
	その他		ワークショップを実施する予定です。 ワークショップに不参加の場合は点数がありません。							

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 /	オリエンテーション KPI		
第2週 /	Java プログラムのおさらい 開発環境	講義 演習	
第3週 /	Java プログラムのおさらい2 オブジェクト指向 クラス メソッド UML クラス図	講義 演習	
第4週 /	チームワーク 役割分担とふりかえり	ワーク ショップ	
第5週 /	Java プログラミング スレッド・タイマー UML 設計のおさらい シーケンス図・クラス図	講義 演習	
第6週 /	Java プログラミング スレッド・タイマー コード規約	講義 演習	
第7週 /	Java プログラミング クラス設計 契約による設計	講義 演習	
第8週 /	テスト設計 仕様テスト プロトタイピング	講義 演習	
第9週 /	テスト設計 ユニットテスト	講義 演習	
第10週 /	テスト設計 テスト駆動開発	講義 演習	
第11週 /	仕様書作成 ユーザーストーリー プロトタイピング	講義 演習	
第12週 /	ふりかえり カンバン	講義 演習	
第13週 /	スプリントとスクラム	ワーク ショップ	
第14週 /	授業のふりかえり	講義 演習	